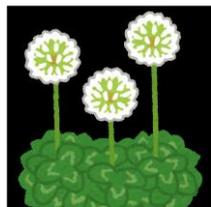


【資料】2024年度 第1回 学びの多様化設置検討委員会(20240508)

『不登校のための対応マニュアル』(町田市不登校対応ガイドライン)の改訂について

○『不登校のための対応マニュアル』(町田市不登校対応ガイドライン)[2021年10月 改訂]

不登校のための対応マニュアル
(町田市不登校対応ガイドライン)2021年10月
町田市教育委員会

【改訂の経緯】

町田市の児童・生徒の不登校の児童生徒数が年々増加傾向にあり、不登校児童・生徒に対する対応や支援としては「マニュアル【改訂版】(2013年10月)」に基づいて行われてきた。

「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(平成29年施行)や「不登校児童生徒への支援の在り方について」(令和元年10月)の主旨を踏まえ、これまでのマニュアルをベースにして内容を見直したのが現行の『不登校のための対応マニュアル(町田市不登校対応ガイドライン)』である。

【内容】

- I 不登校についての正確な理解をするために
- 1 基本的な考え方
 - 2 長期欠席の理由分類
 - 3 不登校の具体例
 - 4 「その他」の具体例
 - 5 町田市の不登校の現状
- II 不登校児童・生徒への支援について
- 1 未然防止について
 - 2 「早期支援」の視点
 - 3 「長期化している児童・生徒」の視点
- III 不登校に係る問題の解決のために
- 1 「未然防止」の取組
 - 2 「早期支援」の取組
 - 3 「長期化している児童生徒」の取組
 - 4 時期を捉えた適切な指導
 - 5 学校内で学ぶ・育つ
 - 6 学校外の関係機関で学ぶ・育つ
 - 7 家庭で学ぶ・育つ☆ICT等を活用した学習活動
- IV 関係資料等
- 1 文部科学省通知
 - 2 フリースクール情報

【国の動向】「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について」<令和5年4月4日> 「不登校児童生徒等への支援の充実について」<令和5年11月17日>

【都の動向】 チャレンジクラス(東京型不登校特例校(校内分教室))の設置 不登校対応巡回教員の配置 校内別室指導支援員の配置

【市の動向】「学びの多様化プロジェクト2024-2028」<2023年12月策定>

★『不登校のための対応マニュアル』(町田市不登校対応ガイドライン)改訂の方向性

町田市の不登校の現状

- ・不登校児童生徒数の現状
- 不登校児童生徒数は増加傾向で、2023年度は前年比25.8%増(1378人)であった。特に、小学校は、2022年度の382人から519人と前年度比1.36倍となり、ここ数年の増加率の上昇が著しい。
- ・支援の現状
- 1年間における欠席日数の違いによる学びの場の違い
- 教育支援センターによる受け入れ状況

『学びの多様化プロジェクト』の内容に準ずる

- 保護者や子ども自身が読むことを想定し、分かりやすく柔らかな表現で、内容を絞って作成している。
- ・基本方針:「学校に行く子も行かない子も、安心して育つまちだ」
 - ・取組事項: (1)相談の場づくり
 - (2)学びの場の確保
 - (3)保護者の支援
- 不登校支援は、子どもを支えるプロセス支援と捉え、相談先や多様な学びの場等について継続的な支援を行っていく。

支援及び解決に向けた取組の見直し

- ・未然防止に関する取組
- 「不登校を生じさせない学校・学級づくり」
- 「分かりやすい授業づくり」「SOSの出し方に関する教育」
- 「学校の風土の『見える化』」 学校巡回教員の実践を踏まえ
- ・早期発見・早期対応に関する取組
- 「スクリーニングの活用」「一人一台端末を活用した早期発見」
- 「適切な支援に基づくアセスメント」「個に応じた支援計画」
- ・継続的な支援
- 「校内での支援」「校外での支援」